

## 2020 年度統一矯正歯科専門医新規申請審査項目

## [ 一次審査： I. 症例記録簿（ファイル）の評価 ]

## I 症例記録簿（ファイル）の評価

## 1：課題症例記録簿記載内容の評価

(1) 所見（主訴と各種所見）、(2) 診断（症例の特徴や問題点）、(3) 治療方針と経過（治療方針・使用装置・治療経過）、(4) 治療結果と保定、(5) 考察の記載内容 についての評価

## 2：添付資料の評価

(6) 写真資料：質、再現性等

1) 顔面写真 2) 口腔内写真・模型写真 3) 側面頭部 X 線規格写真 4) パノラマ X 線写真

(7) セファロトレース、重ね合わせ（質、整合性等）

(8) 側面頭部 X 線規格写真分析（課題症例記録簿記載内容と合わせて評価）

## 3：治療結果の評価

(9) 動的治療期間評価（第 2 期治療または本格矯正治療：マルチブラケット装着期間）

(10) セファロ評価（SN-MP: 垂直的コントロール、歯軸コントロール、臼歯部のコントロール、側貌・口唇 E-line 等）

(11) パノラマ、デンタル評価（歯根の平行性: 上下顎左右小白歯間で評価・唇顎口蓋裂の顎裂隣接歯は除外、歯根吸収）

(12) 口腔内写真評価（カリエス、歯周組織の状態）

(13) 顔貌評価（正面、側面、スマイルなど術前・術後・保定時への変化）

(14) 長期保定症例加点

## [ 二次審査： II. 模型審査、III. 口頭試問、IV. 筆記試験 ]

## II. 模型審査

## 1. 前歯部の評価

（咬合関係：overjet・overbite・正中偏位・緊密性、排列:捻転・アンギュレーション・トルクコントロール）

## 2. 犬歯・小白歯部・大臼歯部の評価：左右側

（咬合関係:近遠心的・緊密性、排列:捻転・アンギュレーション・頬舌的、各左右側について）

## 3. 歯列の評価（歯列形態、連続性、水平性、Spee 弯曲など）：上下顎歯列

## 4. 保定評価（保定方法、術後から保定時への変化）

## 5. その他（症例難易度加点：特異的症例、第三大臼歯に対する配慮など、あるいは単純症例減点）

## III. 口頭試問（専門医適性度審査）

## 1. 矯正歯科に関する一般的知識の評価

## 2. 医療人としての常識、態度に関する評価

## IV. 筆記試験：臨床に即した分析、診断、治療方針に関わる内容を中心とする。

また、(厚)ガイドライン、医療安全などに関する知識も問うものとする。

## [ 症例発表(有志協力)： V. 二次審査合格症例は、同年日矯大会において展示 ] s